

報道関係各位

令和2年11月2日
ロコモ チャレンジ！推進協議会

自治体保健担当者様向け ロコモ オンライン無料セミナー開催

-参加募集のご案内-

～ロコモ度を判定するための新たな臨床判断値「ロコモ度 3」設定を整形外科専門医が解説～

ロコモティブシンドロームの啓発団体であるロコモ チャレンジ！推進協議会（以下本会、委員長：大江隆史、所在地：東京都文京区本郷 2-40-8）では、主に自治体の保健担当者様を対象としたロコモ オンラインセミナーを開催いたします。

これは、本会の上部組織である公益社団法人日本整形外科学会（理事長：松本 守雄、所在地：東京都文京区本郷 2-40-8）が、ロコモティブシンドロームの段階を判定するための臨床判断値（※）に新たに設定した「ロコモ度 3」を解説するものです。

報道関係の皆様には、各自治体でのロコモ啓発促進のため、当件の周知にご協力いただけますと幸いです。

<ロコモ オンラインセミナー開催概要>

■開催日時：2020年11月18日（水）18:00～19:00

■開催形式：オンライン形式（ウェビナーツール「Zoom」にて行います）

■内 容（予定）：

・新たな臨床判断値「ロコモ度3」について

・ロコモに関する Q&A（チャット形式）

■Q&A 登壇者：石橋 英明（ロコモ チャレンジ！推進協議会委員/伊奈病院 副院長・整形外科部長）

■主催/運営：ロコモ チャレンジ！推進協議会（セミナー参加に関するお問い合わせメールアドレス：office@locomo-joa.jp）

■参加費：無料 ◎参加お申込みフォームでのアンケートへの回答必須

■募集枠：上限 100 名程度 ◎先着順

■募集締め切り/参加申し込み方法：

11月11日（水）までに下記 QR コードより参加フォームにアクセスし、必要事項をご記入の上お申込みください。

-先着順にて定員に達し次第、締め切りとさせていただきますので予めご了承の程お願い申し上げます。

-ご参加が正式に決定しましたら、ご招待の URL をメールにてご案内いたします。尚、視聴する際はご自身の PC に Zoom アプリをダウンロードいただき、ご所属先とご氏名のご登録のうえでご参加をお願いいたします。

-Zoom アプリのダウンロード方法等、アプリ自体の利用方法についてのお問い合わせには対応しかねます。

▼参加申し込み QR コード（ホームページ <https://locomo-joa.jp/> お知らせコーナーにも当リリースを掲載いたします）

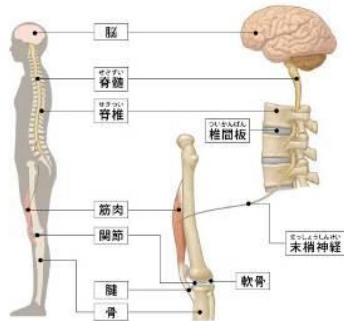


（※）ロコモティブシンドローム 臨床判断値と判定法について

①下肢筋力、②歩幅、③身体状態・生活状況の 3 項目から成る「ロコモ度テスト」の計測結果から、各項目における臨床判断値を用いて、ロコモの進行状況を「ロコモ度 1（いち）」、「ロコモ度 2（に）」、「ロコモ度 3（さん）」と判定します。「ロコモ度 1」は、移動機能低下が始まっている段階、「ロコモ度 2」は、移動機能の低下が進行し、自立した生活ができなくなるリスクが高くなっている段階、「ロコモ度 3」は、移動機能の低下が進行し、社会参加に支障をきたしている段階です。段階に応じて、運動や食事の指導、整形外科専門医受診の必要性などが分かります。「ロコモ度テスト」を活用することで、一般の方もご自身でロコモ度を判定できます。

参考資料

<運動器図解>



左の図は運動器を図解したものです。運動器とは身体活動を担う筋・骨格・神経系の総称であり、筋肉、腱、靭帯、骨、関節、神経(運動・感覚)、脈管系などの身体運動に関わるいろいろな組織・器官によって構成されており、その機能的連合が運動器です。筋・骨格・神経系の組織・器官にはそれぞれに独自の作用・機能がありますが、それらが密接に連動・連携して運動器としての役割を發揮しています。

出典:公益社団法人 日本整形外科学会 HP

<公益社団法人日本整形外科学会について>

日本整形外科学会は1926年(大正15年)、「整形外科学に関する研究発表、連絡、提携および研究の促進を図り、整形外科学の進歩普及に貢献し、もって学術文化の発展に寄与すること」を目的に設立されました。

平成23年4月1日に公益社団法人日本整形外科学会となりました。その目的は「整形外科学及び運動器学について調査、研究を行い、整形外科学及び運動器学の進歩普及に貢献し、もって国民の健康、疾病の予防、スポーツ医学等を通じた国民の心身の健全な発達、障害者の支援、高齢者の福祉の増進及び公衆衛生の向上に寄与すること」です。目的を達成するために行う事業として、研究の奨励及び調査の実施、専門医及び研修施設の認定、医療保険制度・介護保険制度・障害者(児童)福祉制度に関する調査・研究及び提言、一般市民向けの広報などがあります。

学会がめざすところは、運動器の機能の維持・改善を支援することです。そして、このために必要な診断能力をもち、適切な医療を提供することができる専門医を育成することです。適切な医療には運動療法や薬物治療などの保存的治療、そして手術治療を含みます。

日本整形外科学会は、公益社団法人として今後一層、整形外科学、運動器学の発展に寄与してまいります。

<ロコモ チャレンジ！推進協議会について>

ロコモティブシンドロームを、医療・企業・行政の枠を超えて社会的に取り組むテーマであると考え、広くロコモを啓発し、ロコモに負けない社会をつくるため、日本整形外科学会では、任意団体「ロコモ チャレンジ！推進協議会」を立ち上げました(委員長:大江隆史、所在地:東京都文京区本郷2-40-8)。

「ロコモ チャレンジ！推進協議会」では、ロコモティブシンドロームに関する正しい知識の普及と予防意識の啓発を行います。協議会では、会員企業・団体を募り、連携のうえロコモ予防を社会運動化していきます。

■活動内容:

- ロコモティブシンドロームの予防・啓発のための広報活動
- 「ロコモ チャレンジ！」のワード、ロゴマーク使用の認証管理
- 「ロコモ チャレンジ！」公式WEBサイト、ロコモ ONLINE(<http://locomo-joa.jp>)の運営・管理
- 会員企業・団体と連携した広報活動 等

【メディア向け:本件に関するお問い合わせ先】

「ロコモ チャレンジ！推進協議会」広報事務局(博報堂内、担当:二荒くふたら>、浅川、野口)

TEL: 080-6773-8400:二荒携帯、080-8023-0476:浅川携帯

事務局 03-6441-4610 メール:office@locomo-joa.jp